環境経営レポート

エコアクション21

第4版

活動期間: 2022年6月1日~2023年5月31日

発行日 2023年6月20日





今 有限会社 山本建設工業

₹861-6102 熊本県上天草市松島町合津6978

TEL 0969-56-0539 FAX 0969-56-2838

目 次

1.	環境経営方針	1
2.	組織の概要	2
3.	環境管理実施体制	3
4.	環境経営目標·実績	4
5.	環境経営計画及び取組とその評価、及び今後の取組内容・・・・・・	5
6.	環境関係法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	7
7.	代表者による全体評価と見直しの結果	7
8.	次年度の環境経営計画	8

SDGs 2021.8.25登録





環境問題に対応した新船建造 第一号松島 (押船:第三号松島)

環境問題に配慮したクレーン船を建造 国際大気汚染防止原動機証明取得







環境船建造の背景

弊社の環境理念の、豊かで美しい天草と有明海を含む自然環境に囲まれた地域での活動を通じて、 環境型社会の構築に貢献し、次世代へより良い環境を提供する使命を全うしています。その一環と して、環境への負荷低減を追求し、持続可能な未来の実現に向けて新船の建造にふみきりました。

「国際大気汚染防止原動機証明」のクレーン船は、現代の環境問題に対処するための革新的な取り組みです。クレーン船の製造において、低排出ガスエンジンや再生可能エネルギーの活用など、環境への配慮を最優先にました。これにより、大気汚染の削減に寄与し、地域の空気品質向上に貢献し、継続的な環境問題への取り組みを行っていきます。

国際大気汚染防止原動機証明

国際大気汚染防止原動機証書(MARPOL条約関係)、国際大気汚染防止原動機証書,MARPOL条約に基づき発給される証明書です。 船舶の原動機がNOx(窒素酸化物)排出に関する規則に従って放出量確認検査を受け、条約に定める要件に適合していることを証明しています。



私たちのビジョン



1. 環境経営方針

【環境理念】

有限会社山本建設工業は、豊かで美しい天草と有明海を含む自然環境との共存を 最重要課題であると認識し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮した環境型社会 の構築、そしてより良い環境を次世代に橋渡しするため、事業活動を通じて環境 負荷の低減に貢献します。

【環境方針】

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

- 1. 当社の事業である「海洋・港湾土木工事」「陸上土木工事」の各領域において、環境に与える影響を低減するとともに、環境型社会の実現に努めます。
 - ① 二酸化炭素の排出量の削減に取り組みます。
 - ② 環境に配慮した工事を実施します。
 - ③ 建設リサイクル法のよる適正処理を行います。
 - ④ 水使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 循環型リサイクルの推進を行います。
 - ⑥ グリーン購入を推進します。
 - ⑦地域貢献活動に取り組みます。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直し継続的な改善に努めます。

- 2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
- 3. 環境方針は、全社員に周知するとともに、社員教育や日々の事業活動を通じて社員の環境に関する意識の向上を図ります。
- 4. 環境管理に関する情報は、社外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2020年1月6日

有限会社 山本建設工業

代表取締役山本昭博

2. 組織の概要

《事業所名》 有限会社 山本建設工業

《代表者氏名》 代表取締役 山本昭博

《所在地》 本社 〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津6978

倉庫 同上

《環境管理責任者氏名及び担当者連絡先》

環境管理責任者山本勤矢工事部門担当者福田文隆船舶部門担当者野崎幸生連絡先担当者山本勤矢

連絡先 TEL 0969-56-0539

FAX 0969-56-2838

E-mail k.yamamoto@titan.ocn.ne.jp

《事業内容》 建設業 海洋·港湾土木工事 及び 陸上土木工事

許可番号 熊本県県知事許可 特定-1 第1905号

許可年月日 令和1年10月13日

許可業種 土木工事業 建築工事業

とび・土木工事業 石工事業 しゆんせつ工事業 舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

許可有効期限 令和6年10月12日

《事業規模》 設立年月日 昭和54年3月13日

資本金 22百万円

完成工事高 1,030百万円(2021年完成工事高)

事業年度 6月1日~翌年5月31日

従業員数 37名

事業所床面積 本社 180m2

倉庫 128m2

《認証・登録の範囲》

対象事業所 有限会社 山本建設工業 本社

事業活動 海洋・港湾土木工事、陸上土木工事

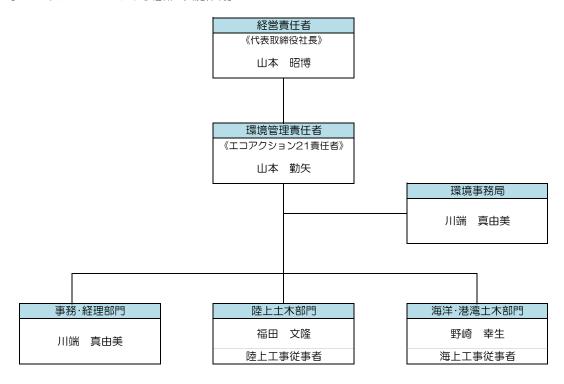
《環境活動レポートの運用期間及び発行日》

環境活動レポート運用期間 2022年6月~2023年5月

環境活動レポート発行日 2023年6月20日

3. 環境管理実施体制

【エコアクション21における組織の実施体制】



【環境管理組織における機能】

経営責任者	1 2 3 4 5 6	環境経営に関する統括責任 環境方針の策定・見直し 環境活動レポートの承認 環境方針の全従業員への周知 環境管理責任者の任命 全体の評価・見直し
環境管理責任者	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	エコアクション21システムの構築・実施・管理環境への負荷及び取組への自己チェックの実施環境活動レポートの作成・公開環境活動計画の作成各種環境教育・訓練の実施環境目標達成状況の確認
環境事務局	1 2 3	環境活動責任者の補佐業務 活動データの収集 事務管理
各部門長	1 2	環境活動の取組の実施・確認・報告 是正・予防処置等の情報収集
従業員	1 2	エコアクション21システムの理解及び参加 問題点の報告

4. 環境経営目標·実績

環境経営目標

活動期間:2022年6月~2023年5月

	5 野期间・2022年	0/3 20204	2/3								
					基準年			目	標		
	TERLES VO PM CT +Æ				2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	環境経営	目標	単位	区分	基準年	(0.5%削減)	(1.0%削減)	(1.5%削減)	(2.0%削減)	(2.5%削減)	(3.0%削減)
				2018.6~	2019.6~	2020.6~	2021.6~	2022.6~	2023.6~	2024.6~	
					2019.5	2020.5	2021.5	2022.5	2023.5	2024.5	2025.5
1	. 二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	事業所	34,717	34,544	34,370	34,196			33,339
'	- 四段10灰糸折山里		NS 002	現場	482,867	480,453	478,039		473,210	468,442	463,697
	①電気使用量		kWh	事業所	12,945	12,880	12,816	12,751	12,686	12,558	12,431
			KVVII	現場·宿舎	4,234	4,213	4,192	4,170	4,149	4,108	4,066
	②燃料使用量	ガソリン	1	事業所	11,407	11,350	11,293	11,236	11,179	11,066	10,954
		73992	_	現場	18,783	18,689	18,595	18,501	18,407	18,222	18,037
		軽油	1	事業所	329	327	326	324	322	319	316
		¥主/田		現場	38,173	37,982	37,791	37,600	37,410	37,033	36,658
		灯油	1	事業所	565	562	559	557	554	548	543
		V) /III	_	現場	38	38	38	37	37	37	36
		A重油	L	船舶	128,000			126,080	125,440		122,918
	2. 廃棄物排出量	建設副産物	t	現場	85		適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理
	- 元本1/0]77田里	(全成曲)(主1/0	%	再資源化率	100	100	100	100	100	100	100
				事業所	476	474	471	469	466	462	457
3	3. 水資源使用量		m ³	現場·宿舎	12	12	12	12	12	12	12
				船舶	250	249	248	246	245	243	240
4	4. 環境保全の取組推	進(ボランティア)		全体	2	2	2	2	2	2	2
į	5. 環境に配慮したエ	事の施工	件	現場	全件	全件	全件	全件	全件	全件	全件

備考

- 1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力: $0.453 kg-CO_2/kWh$ (2022年度排出係数)を使用しています。
- 2.一般廃棄物は、きわめて少量であるため行動目標としますが、発生パターン及び廃棄物量を調査していきます。
- 3.建設廃棄物は、発注件数及び工事の種類により数量は左右されるので、目標を適正処理を行うことを活動目標とします。
- 4.グリーン購入は、購入促進をする活動目標とし項目を削除しています。

環境経営目標の実績

環境経営目標			単位	区分		2022.6~2	2023.5		結果の評価	
		塚児社呂日	lf示	半旦	67)	目標	実績	差異		福未♥ステヂⅢ
_	1	. 二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	事業所	34,023	38,099	4,076	12%	遠方営業・夜間事務所使用
	١.			V ₂	現場	473,210	952,545	479,335	101%	船舶数・現場数・遠方現場の増加
		①電気使用量		kWh	事業所	12,686	17,372	4,686	37%	現場数・事業所使用量の増加
				KVVII	現場·宿舎	4,149	16,383	12,234	295%	現場数・遠方現場・宿舎の増加
		②燃料使用量	ガソリン	1	事業所	11,179	11,984	805	7%	社用車の増加
			カシウン	L	現場	18,407	25,214	6,807	37%	現場数・遠方現場の増加
			軽油	1	事業所	322	156	-166	-52%	目標達成
			半主/田	L	現場	37,410	73,509	36,099	96%	現場数・遠方現場の増加
			灯油	1	事業所	554	774	220	40%	冬期事務所での使用
			ど油	L	現場	37	598	561	1506%	冬期宿舎での使用増
			A重油	L	船台	125,440	254,123	128,683	103%	船舶数・ 現場数・遠方現場の増加
-	2	廃棄物排出量	建設副産物	t	現場	適正処理	適正処理	適正処理	適正	目標達成
_	۷٠	氏 果初孙山里	建议副连彻	%	再資源化率	100	100	0	0%	目標達成
					事業所	466	221	-245	-53%	目標達成
3	3.	水資源使用量		m ³	現場·宿舎	12	208	196	0%	現場数・遠方現場の増加
					船舶	245	216	-29	-12%	目標達成
	4. 環境保全の取組推進(ボランティア)			全体	2	2	0	00	目標達成	
5. 環境に配慮した工事の施工		件	現場	全件	全件	全件	100%	目標達成		

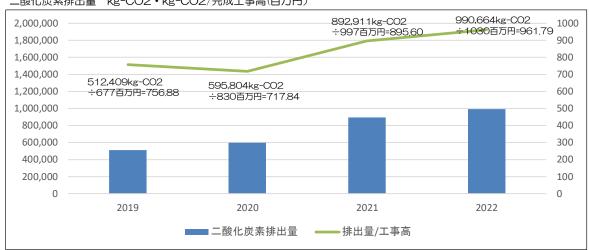
環境経営計画及び取組とその評価、及び今後の取組内容 5.

1 一般化農素は中島の削減

〇:実施できた	△:まずまずできた	X:小十分

_1.二酸化炭素排出量の		〇:実施で	きた	∆:まず	まずでき	た ×	个十万	
取組目標		達成手段		E	双組実績	責		
① 電気使用量の削減			8月	11月	2月	5月	担当	
Market and the second s	1 エアコンの温度設定を決め実行する			0	×	0		
	2 不要な照明の消灯			Δ	0	0		
冷房温度 28℃	3 PC·OA機器の	省電力設定	0	Δ	0	0		
冷房温度 20°C	4 照明器具のLE	***************************************	0	0	0	0	川端	
ISVENDACI	5 節電シールの脚	占付	0	0	0	0		
THE RESERVE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAME								
The same of the sa		T						
- 122		事業所:目標に対し12%増加	土木事	努所の稼働	動率の増	かい エフ	プコン	
エアコン温度設定表示	T- 40 = T / T	使用時間の増加	~ WF 6812					
	取組評価	現場:遠方現場の増加により宿舎	き数か造	700				
		エアコンの使用方法の工夫及び派	日在手	の独定				
	今後の取組	宿舎での節電呼びかけ	画及改足の制造					
	フ接の取組	IDD COMPERTONIA						
② 化石燃料使用料の削減			8月	11月	2月	5月	担当	
E TU LAPROPIUM	1 エコドライブの推進			0	0	0		
	1 1 - 1 - 0							
Transcript Assistant		イドリングストップ	0	0	0	0		
TELESTER			О Д	0	0	0		
エコトライフ	2 車両・重機のア	イドリングストップ)合わせ		ļ			福田	
PTE-117/12/2011	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ O合わせ イルの点検整備 Eの点検	Δ	0	0	0	福田	
エコトライ アイト・リングスト・リール、 下級点 総保金・エファックのでは、	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ)合わせ イルの点検整備	Δ	О Д	О Д	0	福田	
エコトライフ PTドリアステップ T. TMA エフロックフィン	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ O合わせ イルの点検整備 Eの点検	Δ Ο Δ	О	О	0 0	福田	
エコトライフ PTドリアグストップ、工業点 設度は第71、工業点	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ 2)合わせ イルの点検整備 Eの点検 D)けないように80%の能力で使用	Δ Ο Δ Δ	Ο Δ Δ	Ο Δ Δ	О О О		
エコトライフ 東京トリアのストップ 1 泉保護・海ブル・ 下値は エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用	△ ○ △ △ △	○ △ △ △ △ 各現場に	Ο Δ Δ	О О О		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気匠 6 重機の負荷をか	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合れ 遠方現場・使用台数の増えた事	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △ △	O O O △		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気E	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合れ 遠方現場・使用台数の増えた事に 保有車両の増加したが、ハイブ	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △ △	O O O △		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気匠 6 重機の負荷をか	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合札 遠方現場・使用台数の増えた事に 保有車両の増加したが、ハイブ・ 環境船(第一号松島)の建造	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △	O O O △		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気匠 6 重機の負荷をか	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合札 遠方現場・使用台数の増えた事に 保有車両の増加したが、ハイブ・ 環境船(第一号松島)の建造 重機作業現場の増加	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △	O O O △		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気に 6 重機の負荷をか 取組評価	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合れ 遠方現場・使用台数の増えた事に 保有車両の増加したが、ハイブ・ 環境船(第一号松島)の建造 重機作業現場の増加 定期的に確認をおこなう。	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △	O O O △		
エコドライブ推進ステッカー	2 車両・重機のア 3 現場移動の乗り 4 車両・重機のオ 5 タイヤの空気匠 6 重機の負荷をか	イドリングストップ の合わせ イルの点検整備 Eの点検 かけないように80%の能力で使用 エコドライブ・作業員の乗り合札 遠方現場・使用台数の増えた事に 保有車両の増加したが、ハイブ・ 環境船(第一号松島)の建造 重機作業現場の増加	△ ○ △ △ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	○ △ △ △	O O O △		

二酸化炭素排出量 kg-CO2·kg-CO2/完成工事高(百万円)



2.廃棄物排出量の削減

O:実施できた Δ :まずまずできた \times :不十分

取組目標	達成手段			取組実績			
① 一般廃棄物の削減				11月	2月	5月	担当
	1 分別の徹底		0	0	0	0	
	2 両面印刷・裏紙	の使用	0	0	0	0	川端
② 建設廃棄物の処理				11月	2月	5月	担当
	1 産業廃棄物の過	適正処理	0	0	0	0	
	2 マニフェストの	D管理の徹底	0	0	0	0	福田
		分別ごみ箱を設置したことにより	り、ごみの入り口ができ分別されるよう				
		になった。	理されている。				
	取組評価	産業廃棄物については適正に処理					
				***************************************		***************************************	00 TAN
	今後の取組	継続して取り組む。					

3.水使用量の削減

○:実施できた △:まずまずできた ×:不十分

取組目標		達成手段		取組実績				
① 水使用量の削減			8月	11月	2月	5月	担当	
100	1 節水ラベルの	占付	0	0	0	0		
716	2 トイレ用タオル	レの洗濯回数の削減	0	0	0	0	11144	
< E	3 工口泡沫金具の	の取付	0	0	0	0	川端	
12 12								
in a		ラベルの貼付や声かけで節水に対	対する意識付けをしたことにより					
		 大幅に削減できた						
	取組評価	現場宿舎での節水に積極的に取り組む						

節水ラベルの貼付		継続して取り組む						
200.2 77007613	今後の取組							

4.環境保全の取組推進(ボランティア) ○: 実施できた △: まずますできた ×: 不+分							
取組目標	達成手段			取組実績			
① 環境保全の取組推進			8月	11月	2月	5月	担当
	1 事務所周辺の清	情掃活動	0	0	0	0	
	2 現場事務所・現場周辺の清掃活動			0	0	0	山本
ALTERNATION IN	3 地域ボランティ	ア活動への参加	Ο	×	×	0	ШФ
		現場周辺の清掃活動は定期的にな	されてい	る、事務	所周辺(の清掃活	動は
777	取組評価	もう少し積極的に行うようにした	こい。				
1 1 1 1		試行期間中の地域ボランティア活動が実施されなかったので実績なし					
天草海道おもてなし一斉清掃	今後の取組	継続して取り組む。					







5.環境に配慮した工事の施工

0.5+7+	· · + + + + - + +	
()・美麗(ごさに	△:まずまずできた	$X \cdot \Lambda + \Pi$

取組目標		達成手段				責		
① 環境に配慮した工事の施工			8月	11月	2月	5月	担当	
	1 低騒音・低振動	型建設機械の使用	0	0	0	0		
	2 排出ガス対策	型建設機械の使用	0	0	0	0		
	3 粉塵抑制		0	0	0	0	+= m	
	4 船舶・機械の使	用前点検及び油流出防止	0	0	0	0	福田野崎	
	5 生分解性グリ	ースの使用	0	0	0	0	=1.00	
		実施できている。						
		起重機船のクレーンを環境対策を	クレーンに載せ替えた。					
	取組評価	ハイブリット車両の購入						
		環境船(第一松島)建造						
		継続して取り組む。						
	今後の取組	今後の取組 また、環境に配慮した工夫を考え		んでいく	. 0			

環境型クレーンの購入(載替)

弊社保有船舶(第28松島)SUMITOMO SF700HDを KOBELCO BM1500Gに載替





SDGs

KOBELCO

ECOLOGY

KOBELCO BM1500G

省エネルギー発想をすべてに

□ Gエンジン

是大エンジン回転数を倒奪し機費効率のよい範囲で の運転を実施。

鉄ガス腕割対点のDPR PM(包子状物度)を繋続させその損集率を高める ことで、鉄ガス浄化性能を再生させディーゼル エンジンの鉄ガス規制に対応。

所職政治学50ccm以下の影響を使用してください。









□ Gウインチ

無負荷をたは負荷が悪い場合、高速モードの使用で、エンジンの 回転を上げずに最高ラインスピードでの等上げが可能となった。

DAIS

停車時のエンジンストップを促す「オートアイドルストップ (AIS)」を業界で初めて採用、各作業で省エネ運転を実施できる。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、法令違反はなく、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。 環境管理責任者: 山本 勤労

環境管理責任者: 山本 勤矢 チェック実施日:2023.5.3

主な環境関連法規名	主な遵守事項	遵守状況
建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に 関する法律)	建設廃棄物の発生抑制とリサイクル推進 特定建設資材廃棄物の分別・再資源化	0
廃棄物処理法	産業廃棄物処分委託 マニュフェストの交付・回収・管理の適正処理	0
オフロード法	特定特殊自動車の使用制限	0
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	0
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	0
海洋汚染防止法	油等の排出時は海上保安部に報告 有害液体物質による海上汚染の防止	0
フロン排出抑制法	室外機の圧縮機械の電気室力が7.5kW以上	_
グリーン購入法	エコ関連商品の選択購入	0

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

弊社の環境理念の、豊かで美しい天草と有明海を含む自然環境との共存、事業活動のあらゆる面で環 配慮した環境社会の構築、事業活動を通じて環境負荷の低減に貢献を考え、前年度に第28号松島のクレ を環境対策型に載せ替え、本年度は第1号松島(環境型船舶)の築造へと踏み切り持続可能なビジネスラの構築に向けて環境に対する弊社の責任を一層強化してい行きます。

本年度の実績は、船舶数増加、また現場の遠方化、現場の特性により二酸化炭素排出量は増加したが、 クション21の運用を通して、環境負荷の低減に貢献していきたい。

2023.5.31

有限会社 山本建設工業

代表取締役山本昭博

8. 次年度の環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

1.一级10火条排山里切削州					
取組目標	達成手段	担当者			
① 電気使用量の削減					
	1 エアコンの温度設定を決め実行する				
	2 不要な照明の消灯				
	3 PC·OA機器の省電力化				
	4 照明器具のLED化	川端 真由美			
	5 節電シールの貼付]			
		1			
② 化石燃料使用量の削減	·				
	1 エコドライブの推進				
	2 車両・重機のアイドリングストップ				
	3 現場移動の乗り合わせ	= -10			
	4 車両・重機のオイルの点検整備	福田 文隆 山本 勒矢			
	5 タイヤの空気圧の点検	四个 到大			
	6 重機の負担をかけないように80%の能力で使用	1			
	7 電気自動車の購入	1			

2.廃棄物排出量の削減

<u></u>					
取組目標	達成手段	担当者			
① 一般廃棄物の削減					
	1 分別の徹底				
	2 両面印刷・裏紙の使用	川端 真由美			
	3 発生パターン及び廃棄物量の調査				
② 建設廃棄物の処理					
	1 産業廃棄物の適正処理				
	2 マニュフェストの管理の徹底	福田(文隆)			

3.水使用量の削減

取組目標	達成手段	担当者			
① 水使用量の削減					
	1 節水ラベルの貼付				
	2 トイレ用タオルの洗濯回数の削減	 川端 真由美			
	3 エコ泡沫器具の取付	川州、兵田天			

4.環境保全の取組推進(ボランティア)

取組目標	達成手段	担当者				
① 環境保全の取組推進						
	1 事務所周辺の清掃活動					
	2 現場事務所・現場周辺の清掃活動	山木鉱豆				
	3 地域ボランティア活動への参加	1 四本 和中				

5.環境に配慮した工事の施工

	取組目標		達成手段	担当者	
1	環境に配慮した工事の施工				
		1	低騒音・低振動型建設機械の使用		
		2	排出ガス対策型建設機械の使用		
		3	粉塵抑制	福田	文隆
		4	船舶・機械の使用前点検及び油流出防止	野崎	幸生
		5	環境型船舶の造船		